



考えるテーブル

こえシネマ

～映像で話す場所～

私たちは、2011年3月11日から1年以上がたった今、個人の中で埋もれたままになっている言葉を、映像を見て感想を語り合うことで掘り起こしたいと思っています。「被災地」と呼ばれながら、状況は様々な各地域、東北から遠く離れた場所、人と人の間や時間の経過など、今の私たちを取り巻くいろいろな形の「距離」を上映の大きなテーマにしつつ、参加者が自由に話す場をつくることで、「震災後を生きる」個人の声を記録に残していきます。

2012年8月25日[土]
18:30～ *開場: 18:00
せんだいメディアテーク 7階スタジオa

参加無料(申込不要) 直接会場へお越しください。

お問い合わせ先 映像サーベイヤーズ
 メールアドレス: koecinema@gmail.com
 電話: 090-2024-0541 (高野)
 ブログ: <http://koecinema.blogspot.jp/>

映像サーベイヤーズとは・・・
 震災後に映画でつながった吉田文恵(OL)、高野裕之(建設業)、志子田勇(映画作家)の3人による上映会チーム。上映会の原点に戻りつつ、新しい上映会をつくる団体を目指しています。

主催: 映像サーベイヤーズ せんだいメディアテーク



人が集い語り合いながら震災復興や地域社会、表現活動について考えていく場を「考えるテーブル」と題して7階スタジオに開きます。

<http://www.smt.jp/thinkingtable2012/>

「被災地を撮ること／見ること」

震災直後からの1年で撮られ放送・上映された震災関連の映像(報道・映画・ドラマ・記録映像など)を見て、どのように受け止めましたか?
 客観的に見られた方、直視できなかった方、違和感を覚えた方、様々な感じたのではないのでしょうか。
 震災関連の映像を見ながら、撮影した人と映像を見た私たちそれぞれの当時と現在の心境を語り合います。

上映映像

- 「震災報道映像など」
 - 「ルート45」 監督: 高野裕之
 撮影時期: 2012年6月
 撮影地: 青森県八戸市～岩手県釜石市までの国道45号線と沿岸部県道
 - 「仙台のがれき撤去(仮)」 監督: 高野裕之
 撮影時期: 2011年5月～2012年4月
 撮影地: 仙台市宮城野区、若林区の津波被害地域
 - 「測量技師たち」 監督: 志子田勇
 撮影時期: 2011年7月
 撮影地: 岩手県陸前高田市
 - 「あいだのことば」 監督: 小森はるか
 撮影時期: 2011年4月～2012年2月
 撮影地: 宮城県・石巻市、岩手県・陸前高田市
- *上映は各作品の一部分のみ行います。

次回予告
 第2回「感情は誘われる～音は映像を変える～」
 日時: 2012年10月(予定)

※この用紙はリサイクルできます。